

2011年5月19日

ノーリツ、気仙沼市の避難所にシャワー施設提供 復興に向けて避難所から仕事に通う方の生活をサポート

～ 兵庫県との協力で7ヶ所 12基設置 ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井 総一郎、資本金:201億円、東/大証一部上場)は兵庫県(知事:井戸 敏三)と協力し、気仙沼市内の東日本大震災の避難所に向けて、プライバシーを確保したシャワー施設合計12基を提供しました。

4月22～24日、気仙沼市の階上中学校避難所など3ヶ所の避難所に、プライバシーを確保した脱衣室併設のシャワールームを6基設置したのに引き続き、5月16～17日、気仙沼市の唐桑地区4ヶ所の避難所に6基を設置しました。



写真①:
中井公民館避難所
写真②:
唐桑公民館・体育館避難所
写真③:
唐桑小学校避難所
写真④:
鮎立老人憩いの家避難所

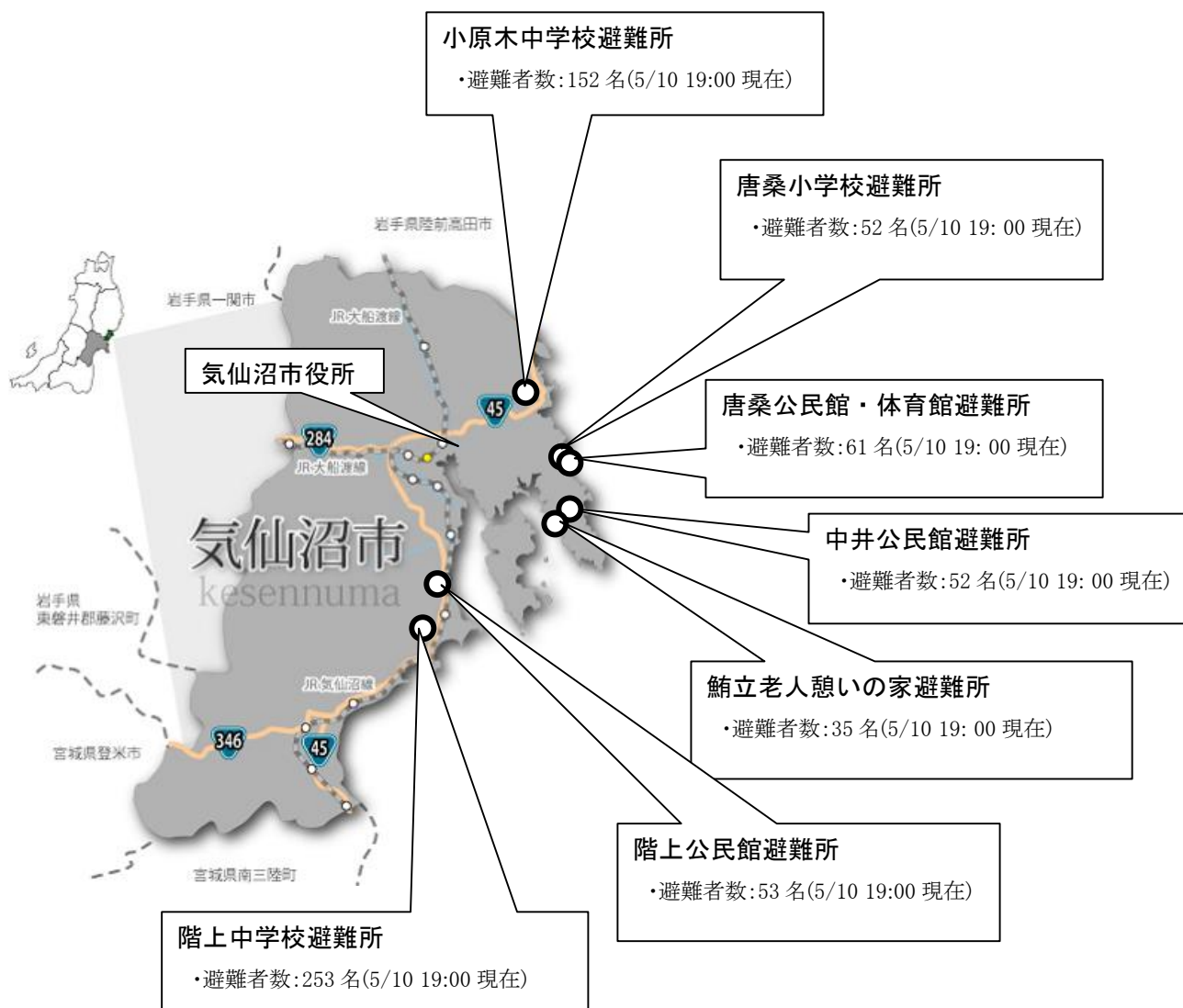
現在、復興に向けて、各避難所から仕事に通う方も増えており、入浴の確保が現地での課題の一つとなっています。ご利用の方からは「仕事から避難所に帰ってきた夕方以降も、プライベートを確保して体を清潔にできる環境があるのは便利」との声をいただいています。

今回のシャワー施設は、当社が16年前に阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の企業として、できることで貢献したい、との思いから実施しました。兵庫県が以前から気仙沼市と交流があったことから、今回の提

供となりました。給湯器はじめお湯まわりの設備メーカーとして「プライバシーを確保したシャワー施設」を提供することにいたしました。社員からのアイデアを取り入れながら、完成させました。

1. 設置場所・設置数

- (1) ^{こはらぎ}小原木中学校避難所 2基
- (2) ^{はしかみ}階上中学校避難所 2基
- (3) ^{はしかみ}階上公民館避難所 2基
- (4) 5月16日(月)中井公民館避難所 2基
- (5) 5月17日(火) ^{からくわ}唐桑公民館・体育館避難所 2基
- (6) 5月17日(火) ^{からくわ}唐桑小学校避難所 1基
- (7) 5月17日(火) ^{しびたち}鮎立老人憩いの家避難所 1基



3. シャワールーム(シャワー室+脱衣室)の仕様



- プライバシーに配慮し、個室型のシャワー室に脱衣室を併設。
- 高齢者に配慮し、シャワールームには手すり、介護用シャワー椅子を設置。
- 断熱性を考慮し、シャワールームの壁はシステムバスの壁を使用。
- ノーリツ製ガス給湯器とミストシャワーを設置。

項目	内容
外形寸法	幅 188cm×奥行き 188cm×高さ 235cm
重量	約 1t
外装	サイディング
設備(シャワー室)	折り戸、手すり、収納棚、鏡、ノーリツ製ミストシャワー「AMU-2」、シャワー水栓、照明、換気扇
設備(脱衣室)	鍵付き入口ドア、カーテン、脱衣カゴ、ベビー浴槽、手すり、コンセント、照明
給湯器	ノーリツ製ガス給湯器(16号、LPガス用)

※今回のシャワールームは、当社の製品ではなく、協力会社と設計・製造したものです。製作期間、約 20 日。